

大会名	第8回 全日本社会人バスケットボール選手権大会			
Competition	兼 第8回天皇杯・第79回皇后杯全日本バスケットボール選手権大会予選			
NO.	M-16	Year	Month	Day Time
		2012	年 11 月	4 日 14 : 40
場所 Place	秋田市立体育館			



秋田県バスケットボール協会

チームA		チームB										
九州電力	<table border="1"> <tr><td>15 1st</td><td>20</td></tr> <tr><td>15 2nd</td><td>14</td></tr> <tr><td>18 3rd</td><td>8</td></tr> <tr><td>10 4th</td><td>11</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	15 1st	20	15 2nd	14	18 3rd	8	10 4th	11	OT		横河電機
15 1st	20											
15 2nd	14											
18 3rd	8											
10 4th	11											
OT												
58		53										
○		●										

主審・Referee 谷地 温 秋田
副審・Umpire 阿部 聖 北海道
高根 聡 秋田
テーブルオフィシャル: Table officials 秋田教員

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
1	×	熊谷 駿	駿 熊谷	6	0	2	2	0	0	×	田ヶ谷 治	治 田ヶ谷 CAP	20	0	7	6	1
3		樋口 靖英	英 樋口	-	-	-	-	0	3		小納 真樹	樹 小納	-	-	-	-	0
5	/	中川 直之	之 中川	2	0	1	0	5	4		溝田 浩志	志 溝田	-	-	-	-	0
6		松谷 直人	人 松谷	-	-	-	-	0	7	×	梅田 稔人	人 梅田	0	0	0	0	3
7		吉満 俊孝	孝 吉満	-	-	-	-	0	8	/	神崎 健	健 神崎	4	0	1	2	2
11	/	織田 秀司	司 織田	2	0	1	0	2	9		佐藤 岳	岳 佐藤	-	-	-	-	0
14		大野 敬太	太 大野	-	-	-	-	0	13	/	小林 一哉	哉 小林	0	0	0	0	3
18	×	岡 隆輔	輔 岡	4	0	1	2	3	14		森川 純平	平 森川	-	-	-	-	0
21	×	毛利 孝志	志 毛利	12	0	5	2	1	20		張 威威	威 張	-	-	-	-	0
26		坂本 祐一	一 坂本	-	-	-	-	0	21		山田 純也	也 山田	-	-	-	-	0
27		長澤 諭史	史 長澤	-	-	-	-	0	22	×	浦中 旭	旭 浦中	14	1	5	1	3
31		児嶋 修平	平 児嶋	-	-	-	-	0	24	×	梶原 剛	剛 梶原	7	1	2	0	4
32	/	村瀬 敦希	希 村瀬	6	0	3	0	1	28		能登 裕介	介 能登	-	-	-	-	0
33		横山 優王	王 横山	-	-	-	-	0	33	×	笹 義仁	仁 笹	6	0	3	0	5
34		佐敷 幸英	英 佐敷	-	-	-	-	0	77	/	飯島 章仁	仁 飯島	2	0	1	0	0
40		賀来 龍矢	矢 賀来	-	-	-	-	0				-	-	-	-	0	
45	×	根岸 豪	豪 根岸 CAP	20	1	4	9	4				-	-	-	-	0	
75	×	田中 喜陽	陽 田中	6	0	3	0	3				-	-	-	-	0	
コーチ		山口 健太郎	郎 健太郎 山口						コーチ		小納 真良	良 真良 小納					
Aコーチ		柚木 毅	毅 柚木						合計		合計		53	2	19	9	21
		合計		58	1	20	15	19									

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

男子決勝は、2年振り5回目の出場で3度目の優勝を狙う九州電力（実業団1位）と8年連続8回目の出場で4度目の優勝を狙う横河電機（実業団5位）の実業団同士の対戦となった。

1P、両チームのディフェンスはオールコートマンツーマンでスタート。横河電機#0田ヶ谷のフリースロー、#22浦中のドライブで得点する。一方、九州電力は#21毛利のゴール下、アシストで得点を重ねる。両チームシュートミスが目立ち、15-20で横河電機がリード終了した。

2P、横河電機#8神崎のスティールから得点が始まるが、互いにリズムに乗れず単発の得点が目立ちロースコアの状態が続く。両チーム共にディフェンスリバウンドを頑張るがなかなか得点に結び付ける事が出来ない。30-34で横河電機がリードで前半を終了した。

3P、九州電力#45根岸が4本連続でフリースローを決め、34-34の同点に追いつく。開始3分間得点のない横河電機は#22浦中の3PTSでピリオド初得点をあげるもあとが続かない。ファールの多い横河電機に対し確実にフリースロー、ジャンプシュートを決めた九州電力が48-42と逆転して終了した。

4P、両チームインサイドを中心に得点していく。横河電機が一時3点差まで詰め寄るもなかなか逆転することが出来ず、シュートの正確性に勝った九州電力が58-53で2年ぶり3回目の優勝を飾った。

文責 【 佐々木 賢悦 】